

仕様書6（海外における販路開拓活動）

1 事業名

ドイツ食品展示会におけるコメ・コメ関連食品プロモーション（ケルン）

2 事業目的

円安の影響等で日本産米の輸出が増加している欧州において、日本産コメ・コメ関連食品の魅力を食品関係者に広く伝え、販路を創出・拡大することを目的とする。

3 前提条件

- (1) 対象国・地域：ドイツ（ケルン）
- (2) 対象品目：コメ、パックご飯、米粉・米粉製品、米菓、日本酒
- (3) 企画提案書の作成に当たっては以下のとおりとする。
 - ・企画提案書はA4縦で4枚以内とする。
 - ・費用概算が分かるよう、別紙にて積算内訳書を作成すること。

4 事業内容

- (1) 食品展示会（ANUGA 2025 - Trade Fair for Food and Beverages）への出展
 - ① 実施時期：2025年10月4日～8日（展示会）
 - ② 場所：ケルン市内
 - ③ 日本側参加者：会員15社、7泊程度を想定すること。
 - ④ 全米輸の独立ブースを設営し、参加会員の小間を確保すること。
 - ・展示会主催者へ支払う小間代金、独立ブース設営代金は、事業費の内数。
 - ⑤ 参加会員ヒアリング：事業実施にあたって、参加会員の意向を踏まえた事業とすべく、事業に関する意見要望等のヒアリングを行うこと。
 - ⑥ 事前セミナー：商談会に先立ち、コメ・コメ関連食品に係る現地情報（商習慣・商流・購買傾向等）を参加会員へ周知する事前セミナーを実施すること。その際、可能な限り実際に現地で日本産コメ・コメ関

連食品を扱うバイヤー等についても招へいし、その立場から見たこれら品目への評価等を説明してもらうようにすること。

- ⑦ 実演・試食・試飲の実施：全米輸ブースにおいて、日本産コメ・コメ関連食品の魅力を発信するプロモーションを実施すること。
来場者向け魅力発信プロモーションでは、おにぎりの PR を行うこと。なお、この PR の経費は事業費の内数とし、おにぎり事業者等と連携した取組とすること。
- ⑧ 広報・情報発信：SNS等を使った日本産米のPR、おにぎりイベントの情報発信を行うこと。
- ⑨ 商談会後のフォローアップ：商談会終了後においても、会員とバイヤー間の商談成約に向けたフォローアップを継続して行うこと。
- ⑩ 現地に商流等が無い、若しくは輸出業務に不慣れな会員がいる場合等は、現地ディストリビューター、インポーター等を招へいし商流構築・拡大を図ること。又は、会員の要望を踏まえ、事業費の範囲内で全米輸が契約している専門家（1名）を帯同する等して伴走支援を行うこと。

（2）事業実施後のアンケート実施

- ・参加会員及び商談に参加したバイヤー等へ商談結果（成約見込み金額等）、課題、感想等について聞き取りを行うこと。特に、バイヤー等には、商談にあたってネックになった点（価格、商流、品質、新規性など）を聞き取ること。

なお、事業の詳細については、事務局との相談の結果、変更する場合がある。

5 事業報告（事業報告書の作成・提出）

上記4（1）及び（2）に関する実施報告書として、以下（1）及び（2）の2種類を作成すること。

- （1）速報版の作成：事業終了後1か月以内に速報版（事業概要、参加者、バイヤー等、状況のわかる写真、成約見込み金額等）を提出すること。
- （2）最終報告書の作成：報告書には、商談結果（成約見込み金額等）と商談のフォロー内容を取りまとめるとともに、欧州向けの今後の輸出拡大に向けた詳細な提言（課題・今後の対応等）を盛り込むこと。

また、事前セミナー等で講師を招きプレゼンテーション等を実施する場合には、その説明内容の概要も作成すること。

6 履行期間

契約締結日から 2026 年 3 月 31 日まで